

一歩ずつ前進、地道な努力を

田中 隆太さん
(出石町福住)
(平成9年生まれ)



僕は今年、生まれて初めて年男を迎えることができました。ここまで育ててくれた両親に感謝したいと思います。小学校生活最後の1年、野球部のキャプテンとして「一心発起」で夢のアーチを駆け抜けるぞ！

オオサンショウウオと共に生きる

淀 美香子さん
(但東町平田)
(平成9年生まれ)



私は、名付けたオオサンショウウオを昨年の春、出石川に帰しました。災害復興工事が終了し、出石川の自然も少しずつ元に戻ってきましたが、生き物調査のたびにごみと出会います。今年もこの川を守り、共に元気にたくましく生きていきたいです。

謹賀新年

今年は丑年。年男・年女の方々を代表して、14人の方に抱負を語っていただきました。皆さんにとって良い年になりますように…。

前進しながら地域に貢献

小川 恭平さん
(中央町)
(昭和60年生まれ)



土木関係の仕事始めて5年目を迎えました。この5年間でさまざまな人と出会い、また、いろいろな経験をしてきました。仕事も、先輩方に教わり、慣れてきました。今年はその糧に地域に貢献できたらと思っています。

できることからコツコツと

谷垣 有香さん
(日高町観音寺)
(昭和60年生まれ)



社会人になったものの相変わらず不器用でおっちょこちょい。迷惑をかけつつ、甘えさせてもらいつつ、これまでやってきました。そんな私だから、これからは自分ができることを見つけて、増やして、少しずつ感謝の気持ちを形にしていきたいです。

仲間と共に城崎温泉を日本一の観光地へ!

蜂須賀 貴之さん
(城崎町湯島)
(昭和48年生まれ)



城崎に帰郷し、10年が経ちました。故郷では、多くの仲間と共にまちづくりのあり方や、いかにお客さんに楽しんでいただくかをテーマに、日夜、話し合い、共存共栄の精神で頑張っています。今を信じ一歩一歩、日々前進の人生を送りたいです。

主婦、受験宣言!

牧野 裕美子さん
(塩津町)
(昭和48年生まれ)



夫の転勤で豊岡に来て7年が経ちました。豊かな自然と温かい人たちに囲まれて、子どももおおらかに育っています。大好きな豊岡をもっとよく知って、家族でより一層楽しむため、3月の但馬検定1級試験を頑張って受験します。

あきらめない心とたゆまぬ努力

別角 恒平さん
(竹野町松本)
(昭和36年生まれ)



介護の仕事は、私に「人は生涯成長し、発達を続ける存在であり、常に人を思いやり、健全な生活を送ろうとする存在であること」を教え、大きな勇気を与えてくれました。これからもこの豊岡の地で、決してあきらめることなく、訪問介護を続けていけることを願います。

平凡に過ごせますように

古田 由美子さん

(出石町小人)
(昭和36年生まれ)

子どもも大学生と高校生になり、子育ても一段落。今は仕事、家事と趣味で毎日を過ごしています。近ごろ、1週間の過ぎるのが早いと感じながら、平凡な日々に感謝しています。新年を迎え、今年も平凡に過ごせますように願います。



人の出会いと一日一日を大切に

河部 勇さん

(但東町木村)
(昭和24年生まれ)

人生の通過点3回目の成人式を重ね、60歳(21,900日)を健康で迎えられることに感謝しています。これからは未来のことを考え見定め、一日一日を大切にして、若い世代の方々に、思い出に残るような行事をたくさん伝えていきたいです。



元気でみんな仲良く

西山 有多子さん

(城崎町湯島)
(昭和24年生まれ)

早いもので還暦を迎える年になりました。毎日仕事に家事にと忙しくしていましたが、体も健康であり、かわいい孫たちに囲まれ、平穏な中に幸せを感じる日々を送っています。これからも元気で頑張っていきたいと思います。



2009年 うし 丑年



緊張感を持つこと

岡田 忠義さん

(野田)
(昭和12年生まれ)

昨年、6回目の年男になる前に入院しました。入院生活で仕事ができず、健康であることの大切さを痛感しました。仕事の製麺業では今だに満足のいくものが作れません。認知症にならないように緊張感を持って頑張っていきたいです。



生きがいを感じながら元気で

辻岡 泰子さん

(竹野町下塚)
(昭和12年生まれ)

6回目の年女を迎えました。長い人生の間には、いろいろなことがありました。現在、竹野地域のグループで「手作りさしみこんにゃく」を作っています。みんなと楽しく、生きがいを感じながら、元気で頑張っていきたいと思います。



一日一善

長谷川 太一さん

(日高町奈佐路)
(大正14年生まれ)

気が付けば84歳です。病気や入院などをしたことがありません。健康な体に感謝しています。今は、ボランティアで独居老人への弁当配りや、体の不自由な高齢者の病院への送迎、買い物などを手伝っています。まだ頑張ります。



続けることの大切さと健康を

近藤 美佐子さん

(桜町)
(大正14年生まれ)

この年になって、新しいことに挑戦するというよりは、これまでやってきたことを続けていきたいと思っています。短詩型文学の短歌作りに、世話をすれば答えてくれる花作り。その基は健康です。牛のように元気でゆっくりと歩みたいです。

